

「観光カリスマ塾（氷見会場）」を開催しました

企画観光部 観光地域振興課

北陸信越運輸局では、地域の観光振興を担う人材を育成するため、観光地の活性化に成功した「観光カリスマ」を塾長に迎えて「観光カリスマ塾」を毎年開催しております。

今年度は、平成22年11月8日（月）から9日（火）の2日間、富山県氷見市において氷見市長である観光カリスマ堂故 茂 氏により「食を発信するまちづくり～全国ブランドへ～」をテーマに開催しました。

1日目の講義として、塾長によるカリスマトークに始まり、氷見市商工観光課の担当者からは、氷見市における「食のまちづくり条例」の制定や氷見の食育として伝統食を子供たちに伝えていく取組みの報告があり、食をメインとした観光の取組みについて説明を頂きました。



〔観光カリスマ 堂故（どうご）氷見市長〕



〔岩城企画観光部長より主催者挨拶〕

2日目の講義は、トークセッションとして、「氷見ブリと定置網」「ハトムギ生産」「食と組み合わせた着地型旅行商品」について様々な業種の方より説明頂きました。

最後の観光カリスマとの意見交換では、参加者からの地域における課題についての質問に対し、観光カリスマよりの確かなアドバイスを頂き、「食」による観光まちづくり等のヒントを伝授頂きました。

参加者からは今後の地域づくりの大変参考となったとの意見を頂き、観光カリスマ塾を無事終了することができました。

